NO. 11

ISO方式ホイールナットの取扱いについて

ISOフル積載40フィート海上コンテナ対応のシングル3軸セミトレーラにはISO方式のホイールナット（平面座ホイールナット）が採用されています。

また、その他構内用を含め一部トレーラに使用されていますので、従来のJIS規格ホイールナットとISO規格ホイールナットとの相違点及びISO平面座方式の注意点をまとめました。

取扱いを誤るとタイヤ・ホイールの脱輪等重大事故の要因ともなりますので、このような事故を未然に防ぐための参考としてください。

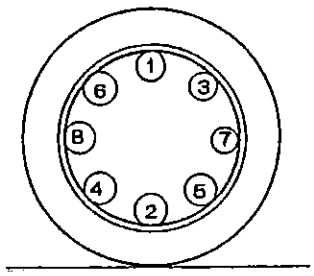
ISO方式ホイールナットの取扱いについて

従来方式との主な相違点

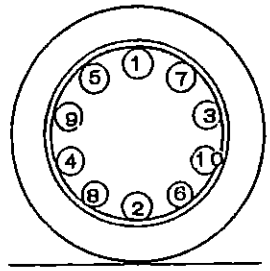
従来方式：JIS規格（日本工業規格）
新方式：ISO規格（国際標準化機構規格）

1．取付ボルトの本数が異なります。（これに伴い締め付け順序も異なります）

従来方式
8本

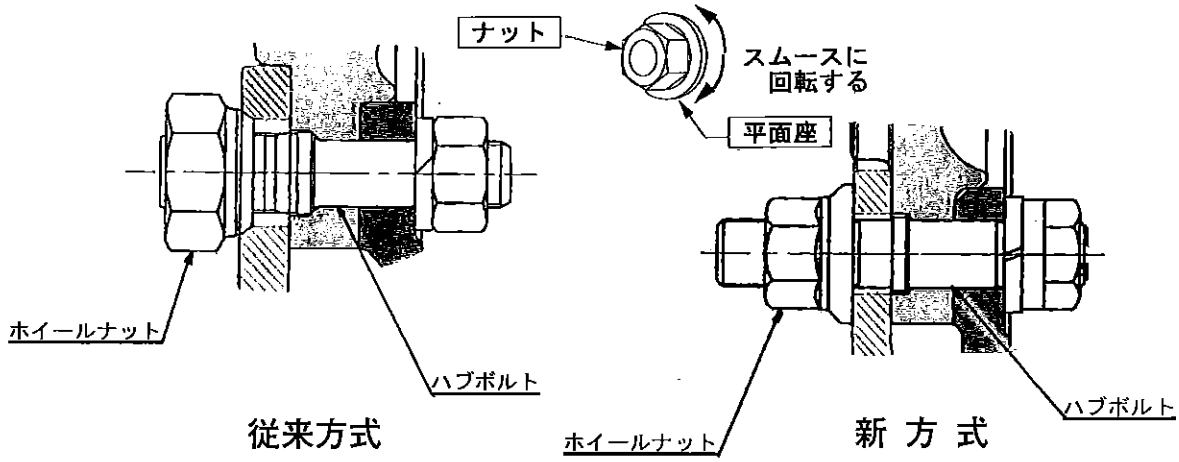


新方式
10本



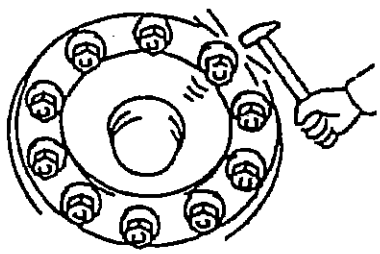
2．ホイールの締め付け方式が異なります。

従来方式；ホイールナットとホイールとの当り面が球面でホイールナットは単体。
新方式;ホイールナットとホイールとの当り面が平面座でありナットと平面座はフリーに回転。



使用上の注意事項

1．運行前点検の励行

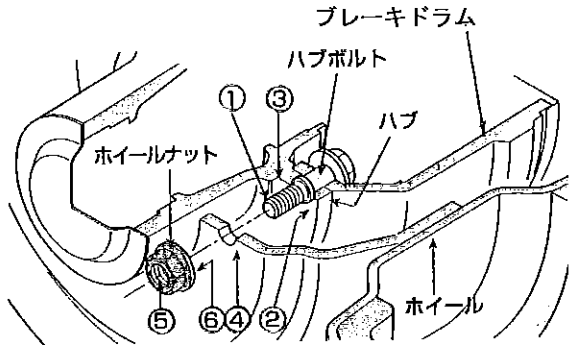


ホイールナットが締まっているか
点検ハンマーにて運行前に必ず点検して
ください。
緩みがあった場合は、締付規定トルクで
増締めしてください。

★ホイールナットの締付け方向は、左右共、右ねじを採用しているメーカーと、右側は右ねじ、左側は左ねじを採用しているメーカーがありますので、各メーカーの取扱説明書などで、ご確認ください。

2．タイヤ交換時の注意事項

1）ホイールナット緩み防止のために追加塗装はしないで下さい。また、清掃を実施して下さい。

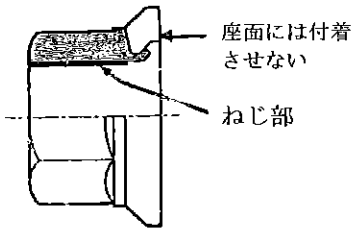


・追加塗装禁止部位
②ハブとホイールの取付面
④ホイールナットの取付面（ボルト穴周辺）
⑥ホイールナットの座面及びハブボルト

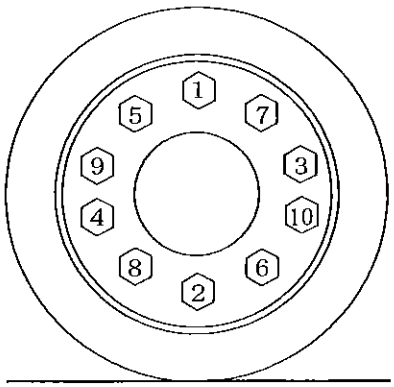
・清掃実施部位
①ハブボルトのねじ部、②ハブとホイールの取付面、③ハブのホイールインロー部、④ホイールのナット取付面、⑤ホイールナットのねじ部、⑥ホイールナットの座面

①ハブボルトのねじ部　④ホイールナット取付面
②ハブとホイールの取付面　⑤ホイールナットのねじ部
③ハブとホイールのインロー部　⑥ホイールナットの座面

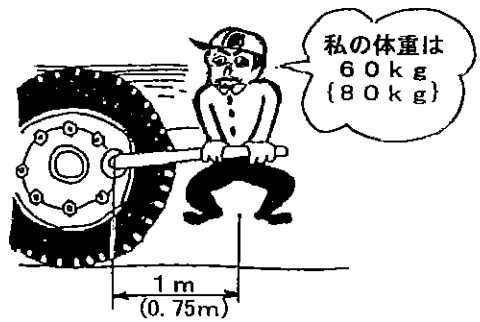
2）ホイールナット締付け時は、ナットのねじ部及びナットとワッシャ間（テーパ部）にエンジンオイルまたはギヤオイルを少量塗布してください。ただし、二硫化モリブデン入りのオイルは使用禁止です。ハブボルトのねじ部、ホイールの取付面及びホイールナットの座面にはオイルを付着させないでください。緩みの原因となります。



3）ホイールナットの締付けは図の順序に従って規定トルクで締め付けてください。



★締付け規定トルクは製造メーカーにより異なりますので、各メーカーの取扱説明書などで確認して下さい。



★ホイールナットの締めすぎは、ハブボルトの伸び、破損の原因になりますので締付けには十分注意してください。

締結トルク　589N・mの場合
589 N（60kg）×1ｍ=589N・m（60kgf・m）
{785 N（80kg）×0.75m=589N・m（60kgf・m）}

★新車時およびタイヤ交換等を行った場合は50～100㎞走行後、規定トルクで増締めを行ってください。また定期的（4,000㎞走行後または１ヶ月毎）に規定トルクのチェックを行ってください。

⚠ 警　告

・増締めを怠るとホイールナットが緩み、タイヤが脱輪する恐れがあります。

詳しくは、各メーカーの取扱説明書などでご確認ください。